

救命救急センター教育のための教育デザインの開発の研究について

この度海老名総合病院救命救急センターでは入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた研究を実施させていただいております。

1. 研究目的

教育的役割を担う医療従事者の多忙さと、多忙さゆえにフィードバックが少ない臨床活動は、救急外来における学習の問題点であると考えられる。より多くのフィードバックを可能にし、学習者が学習サイクルを回し続けることができるような救急外来での学習のための教育デザインを開発することは、救急外来での教育に貢献すると考えられる。本研究では、救急外来ベースで行われる救急医学教育のためのデザイン開発を目的とする。

具体的には、以下のリサーチクエスションに取り組むことを目的とする。

- 1) 教育的役割を担う医療従事者にとって、救急外来における教育の問題点、教育における理論的ギャップは何か？
- 2) 学習者にとって、救急外来での学習の問題点、学習における理論的なギャップは何か？
- 3) 救急部で教育的役割を担う医療従事者の視点から、新たに開発された救急部での学習のための教育デザインは問題点を解決しているか？
- 4) 新たに開発された救急科における学習のための教育デザインは、救急科の学習者の視点から問題点を解決しているか？

2. 研究方法

研究対象：対象は、教育的役割を担う医療従事者として、海老名総合病院の救急外来で、教育的役割を担う、8名のスタッフとする。学習者としての対象は、海老名総合病院救急科専攻医と、海老名総合病院研修医とする。

実施期間：研究期間 2023年4月1日から2027年3月31日まで

研究方法：デザインベースド・リサーチにおける1) 分析と探索 のステップにおけるデータ分析は、テーマ別分析、帰納的アプローチで行われる。得られた情報をコード化して分析し、問題点を明らかにする。これらの問題点に基づいて、次のステップである学習のための教育設計が展開される。

デザインベースド・リサーチにおける2) 設計と構築 のステップでは、1) 分析と探索のステップで抽出された問題点を解決するための教育デザインが開発される。

デザインベースド・リサーチにおける3) 評価と振り返り のステップにおけるデータ分析には、テーマ別分析と演繹的アプローチが用いられる。開発した学習用教育デザインは有用であるという仮説に基づき、実施後に得られたデータを分析していく。

3. 試料・情報

教育的役割を担う医療従事者に対するデータ収集は、フォーカスグループを用いる。フォーカスグループは、質的研究におけるリサーチ手法の一つであり、6-10人程度のグループで議論をする中

で情報収集を行っていく (Kitzinger 1995)。フォーカスグループによる議論は複数回行われ、現在の救急外来教育の問題点の抽出から、新たな教育デザインの開発、教育施行後の評価に至るまで議論される。それらの議論から得られる言語がデータとして収集される。そのため、それらの議論は録音される。

学習者に対するデータ収集は、質問紙法を用いる。2005 年に発表された、卒後教育病院環境調査の質問項目を使用する。この項目は、Postgraduate Hospital Educational Environment Measure (PHEEM) と呼ばれており、卒後医学教育を受けている学習者が 40 項目の質問に対し 5 段階で評価するもので、役割の自律性に関する認識、教育に対する認識、社会的支援に対する認識の 3 つの分野に関する質問項目から成る (Roff & Skinner 2005)。この質問を、今存在する教育デザインで研修を受けた学習者に行い、問題点を抽出する。そして、新たに開発された教育デザインで研修を受けた学習者に同じ質問を行い、デザイン評価を行う。このデータ収集は完全に匿名とし、個人データは、現在のポジションと性別のみ収集することとする。

4. 外部への試料・情報の提供

個人が特定できる情報(氏名、住所、生年月日など)は除外した形でデータ集積を行います。

データの紛失・改ざん・漏洩などを防ぐためデータベースへのアクセスは ID・パスワード等、適切に管理しています。

収集した匿名化データは海外含む学術研究施設に提供されますが、診療の質評価および研究目的以外には使用致しません。研究成果は個人が特定できないような形で発表を行います。

5. 本研究責任者およびお問合せ先

本研究にご質問がありましたら下記の連絡先までお問合せください。お申し出によりそれ以降の分析から個人データを除外することは可能ですが、お申し出時点より前の分析および発表済の研究結果からの削除は出来ない場合がありますのでご承知くださいますようお願い致します。

この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。またプライバシー保護について法令等を遵守し研究を行わせて頂きます。

試料・情報について、本研究への利用をのぞまれない場合は以下担当医師にご連絡ください。

施設名 : 海老名総合病院

住所 : 神奈川県海老名市中央 4 丁目 16-1

電話 : 046-233-1311

研究責任者: 救命救急センター 大坪 里織